

仕事に役立つ異文化理解・異文化コミュニケーション
企業向け研修「基礎編」

■■■ カリキュラム例 ■■■

文化指標 ① 直接的・間接的コミュニケーション

1-1. 導入

1-2. コミュニケーションの特徴

1-2-1. 特徴：直接的コミュニケーション

1-2-2. 特徴：間接的コミュニケーション

1-3. コミュニケーション作法の違いを生むそれぞれの価値観・常識の違い

1-3-1. 価値観・常識：直接的コミュニケーション

1-3-2. 価値観・常識：間接的コミュニケーション

1-4. 国単位で見るコミュニケーションの傾向

1-5. コミュニケーション作法の異なる相手に対して抱きがちな感情

1-5-1. 日本人が「直接的」な外国人に対して抱きがちな感情

1-5-2. 「直接的な」外国人が日本人に対して抱きがちな感情

1-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ② 言いにくいことの伝え方（ネガティブ・フィードバックの仕方）

2-1. 導入

2-2. それぞれのコミュニケーションの特徴

2-2-1. 特徴：言いにくいことも「直言する」コミュニケーション

2-2-2. 特徴：言いにくいことは「ほのめかす」コミュニケーション

2-3. コミュニケーション作法の違いを生むそれぞれの価値観・常識の違い

2-3-1. 価値観・常識：言いにくいことも「直言する」コミュニケーション

2-3-2. 価値観・常識：言いにくいことは「ほのめかす」コミュニケーション

2-4. 国単位で見えるコミュニケーションの傾向

2-4-1. 国単位で見えるコミュニケーションの傾向

2-4-2. 「直接的・間接的コミュニケーション」と「言いにくいことも直言する」「ほのめかす」の国単位の傾向比較

2-5. コミュニケーション作法の異なる相手に対して抱きがちな感情

2-5-1. 「直言する」外国人に対して日本人が抱きがちな感情

2-5-2. 「直言する」外国人が日本人に対して抱きがちな感情

2-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ③ 上下関係のあり方

3-1. 導入

3-2. 上下関係に対する行動、態度の違い

3-2-1. 特徴：上下関係を「重視する」

3-2-2. 特徴：上下関係を「重視しない」

3-3. 上下関係のあり方に対する価値観・常識の違い

3-3-1. 価値観・常識：上下関係を「重視する」

3-3-2. 価値観・常識：上下関係を「重視しない」

3-4. 国単位で見える上下関係のあり方に対する傾向

3-5. 上下関係のあり方が異なる相手に対して抱きがちな感情

3-5-1. 日本人が上下関係を「重視しない」外国人に対して抱きがちな感情

3-5-2. 上下関係を「重視しない」外国人が日本人に対して抱きがちな感情

3-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ④ 意思決定の仕方

4-1. 導入

4-2. 意思決定の仕方の違い

4-2-1. 特徴：合意主義的

4-2-2. 特徴：トップダウン

4-2-3. 補足：日本の意思決定のあり方

4-3. 意思決定のあり方の違いを生む価値観・常識の違い

4-3-1. 価値観・常識：合意主義的

4-3-2. 価値観・常識：トップダウン

4-4. 国単位で見る意思決定の仕方の傾向

4-4-1. 国単位で見る意思決定の仕方の傾向

4-4-2. 「上下関係のあり方」と「意思決定の仕方」の国単位における傾向比較

4-5. 意思決定の仕方が異なる相手に対して抱きがちな感情

4-5-1. 「合意主義」の日本人が「トップダウン」の外国人に対して抱きがちな感情

4-5-2. 「トップダウン」の外国人が「合意主義」の日本人に対して抱きがちな感情

4-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ⑤ 信頼構築の仕方

5-1. 導入

5-2. 信頼構築の仕方

5-2-1. 特徴：認知に基づく信頼構築

5-2-2. 特徴：感情に基づく信頼構築

5-3. 信頼構築の仕方の違いを生むそれぞれの価値観・常識の違い

5-3-1. 価値観・常識：認知に基づく信頼構築

5-3-2. 価値観・常識：感情に基づく信頼構築

5-4. 国単位で見る信頼構築の仕方の傾向

5-5. 信頼構築の仕方が異なる相手に対して抱きがちな感情

5-5-1. 「認知型」の人が「感情型」の人に対して抱きがちな感情

5-5-2. 「感情型」の人が「認知型」の人に対して抱きがちな感情

5-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ⑥ 自己主張・感情の表し方

6-1. 導入

6-2. 自己主張の表し方

6-2-1. 特徴：対立型

6-2-2. 特徴：対立回避型

6-3. 対立型・対立回避型のそれぞれの価値観・常識の違い

6-3-1. 価値観・常識：対立型

6-3-2. 価値観・常識：対立回避型

6-4. 国単位で見る自己主張のあり方・感情の傾向

6-4-1. 国単位で見る自己主張のあり方の傾向

6-4-2. 「自己主張のあり方」と「言いにくいことも直言する」「ほのめかす」の国単位の傾向比較

6-4-3. 国単位で見る自己主張と感情表現の傾向

6-5. 自己主張のあり方が異なる相手に対して抱きがちな感情

6-5-1. 対立型の外国人が日本人に対して抱きがちな感情

6-5-2. 日本人が対立型の外国人に対して抱きがちな感情

6-6. 問題が生じやすいビジネス場面

文化指標 ⑦ 時間感覚

7-1. 導入

7-2. 時間感覚の違い

7-2-1. 特徴：時間に厳格

7-2-2. 特徴：時間に寛容

7-3. 時間感覚の違いを生むそれぞれの価値観・常識の違い

7-3-1. 価値観・常識：時間に厳格

7-3-2. 価値観・常識：時間に寛容

7-4. 国単位で見ると時間感覚の傾向

7-5. 時間感覚の異なる相手に対して抱きがちな感情

7-5-1. 日本人が「時間に寛容な」外国人に対して抱きがちな感情

7-5-2. 「時間に寛容な」外国人が日本人に対して抱きがちな感情

7-6. 問題が生じやすいビジネス場面

まとめ／振り返り

●備考

- ・上のカリキュラム全体で8時間の講義となります。
- ・ご要望に応じ、特定の地域や国に特化したカリキュラムでご提供することも可能です。

●補足動画

序章1：文化とは何か

序章2：異文化理解が必要な理由

序章3：国別 各国の位置付け「資料の見方・注意点」

●ご提供する資料

文化指標と各国（日本を含む64カ国）の位置付け

各講義パワーポイント資料